

大同団結 総反撃へ

「法案」粉碎、「ダイ改」阻止、「広域配
転」「人活センター」粉碎—才三波決起



動券千葉

86. 9. 13

No. 2350

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）五三五〇六（公衆）〇四七二（二二）七二〇七

「国鉄国会」の開始にあたり、全国の関心中間に訴える

10月2日国会大デモへ向け 全国・全取場から総決起しよう

いまこそ中曽根打倒へ起て！

臨時国会は九月十一日召集され、中曽根は今国会で「国鉄職員全員一旦解雇—選別再雇用」の国鉄八法案の強行制定を狙っている。だが、国鉄分割・民営化のデタラメと矛盾はいよいよ鮮明になっている。これからが決戦なのだ。全国の国鉄職場から総反撃・総決起に起とう。決起すれば必ず勝てる！

中曽根プランは必ず
ふつとばせる

中曽根は、八月三〇日、自民党・講演で同日選「圧勝」したことを「五五年体制に変わる八六年体制がスタート」と宣言、国家機密法の国会再上程策動、「一%ワク」突破、ニュージャーシー寄港、臨教審、教科書、靖国参拝、そして大増税攻撃を暴力的に推し進め、「戦後政治の総決算」の突破口に国鉄分割・民営化攻撃、三里塚二期強行の攻撃を据え、国鉄労働運動や三里塚闘争を解体せんとし

このムキだしの攻撃それ自体が日帝・中曽根体制の危機の表れであり、逆に、われわれの決起いかに中曽根政治の基軸としてある国鉄分割・民営化攻撃のプランをふつとばしてしまふことが全く可能なのである。

敵の中の矛盾と亀裂を突け
中曽根・杉浦は、国鉄労働運動・総評運動を叩きつぶすため「国鉄改革」との名を利用し、「四組合」「協議会」なるものは口をそろえて「国鉄改革の最大のガンは国労」と言い、過去一年間やってきたことは唯一国労攻撃のみ、首を切るための合理化協力しかやっていない。これから国会審議がはじまる。次々と露わになってくる「国鉄関連案」の矛盾の噴出のなかで「国鉄改革」組の中に大きな矛盾が生まれ、亀裂が走っている。

理不尽きわまりない分割・民営化攻撃に反撃に起つには、この状態を打開するためには、この矛盾を拡大していくためには分割・民営化反対の国鉄労働者が団結することだ。団結して闘いを展開し、この矛盾を徹底的に突きまくり、そこに反撃するチャンスが生まれる。その絶好のチャンスがきた。九・十月決戦に起て！



9月8日
民営阻止へハンスト
岡山駅前で国労組合員

闘争宣言(案)

今日、中曽根、国鉄当局は、「分割・民営」への既定事実化攻撃を日増しに強め、九月一日からの臨時国会において国鉄解體法案を一挙に成立させ、八七年四月「分割・民営」をやりきるとしている。

そのために、現在、労使共同宣言派と一体となつて国労つぶしに集中している。そのことは七月一日から余剰人員の有効活用と称しての全国一斉の「人材活用センター」(首切りセンター)の強引な設置に明らかである。

言うまでもなく「人材活用センター」とは、余剰人員の活用策などというものではなく、「分割・民営」に向けた差別・選別のための首切り要員の特定化を組つた大量首切り攻撃であり、国鉄解体、国労つぶしの中心であり、当該労働者、家族の問題にとまらず、全労働者の最重要課題である。

現在、全国的には、「人材活用センター」という強制收容所に一万五千名の労働者が收容され今後、六一、一ダイヤ改正の中で数万人が「人材活用センター」送りにならうとしている。

我々、岡山係線区においても、岡山支区、瀬戸駐在に「人材活用センター」が設置され二九名の仲間が收容されている。

こうした、大量首切り攻撃、国家的不当労働行為に対して、秋の決戦を前に全国各地で「人材活用センター」は認められぬ、という満身の怒りをこめた反撃の闘いが始まっている。

我々分会も「人材活用センター」とは「実質的首切り」であり絶対に認めることはできません。今、全組合員が「カ」をあわせて断固闘つていく決意である。

今日の国鉄情勢とは、まさに非常事態であり、今、重要なことは、この非常事態の中いかに闘つていくのかということであり、職場からの闘いを通じて総団結、総反撃をすることである。

仲間の方へ、
残された時間は限られています。今こそ、我々自身が、今次闘争の中で闘いに勇気と自信をもち、大義ある闘いとして、全国の闘う仲間と一体となり全力をつくそうではありませんか。

今日までの闘いを更に強化し、当面する臨時国会に向け、今、我々にできる最大の闘いとしてここにハンガーストライキを実施し、闘うことを、
右、宣言する。

一九八六年 九月七日

国労岡山地方本部第一支部岡山施設分会、岡山機械区分会
ハンスト突入集会

※全国で闘う仲間たちからのニュース、情報、資料を寄せて下さい。



民営阻止へハンスト

9/8日 岡山駅前で国労組合員

国鉄の分割・民営化反対、人材活用センターの廃止を訴えて、岡山岡山施設分会の組合員ハンストに入った国労組合員(右側)が外部から見えないよう覆われた当分のマイクログラス7日午後7時5分、岡山駅西口前で

四人が七月午後五時半から国鉄岡山駅西口の空き地でハンストに入った。四人ずつ二十四時間交代で二十四日まで続ける予定。岡山岡山施設分会の国労組合員で組織され、八十四人中二十五人が人材活用センターに入っている。組合員らは「民営化かな抵抗もされないが、人材活用センターで反対の呼びかけられている関係のために何かをやらすに決めた」と話している。

岡山労働組合 岡山施設分会 岡山機械区分会

反撃は開始された!!

「人材活用」と称する首切りセンターを解散せよ!

国労岡山(施設・機械区・気動車区)の3分会の仲間が

決死のハンガーストに突入!! (9月7日~)

全国にひろめよう。この力、この決起!

とて、全国から総団結、総反撃で、

10.12 対国会大デモに

結果させよう

とるぞ! 共に闘はん!

「...職場からの闘いを通じて総団結、総反撃を」
「...大義ある闘いとして、全国の闘う仲間と一体となり全力をつくそう...」
(国労岡山施設分会、岡山機械区分会、ハンスト突入) 闘争宣言より

ガンバリ! 岡山施設、機械区、気動車の仲間、
働かざるは、また進み、わすれ決戦を闘い